

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	1/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

## 1. 開会

### 【座間市長 企画財政部】

昭和44年の地方自治法の改定にともないまして、各市町村がいわゆる市の将来像をどういったものにするかを義務付けられております。これまで第三次の座間市総合計画が策定しておりますけれども、第三次総合計画が平成3年につくられまして平成22年度をもって終了という経緯がございます。したがってあと1年半のなかで今現在の総合計画が終了するわけです。こういったことから今回は次の総合計画、仮称第四次といひましようか総合計画を策定するところというかたちになります。策定するにあたりましてやはり将来のあるべき座間の姿、こういったものを今日皆さん集まっておりました方々に意見あるいはご要望等ふまえていただいで交換会といひますかをやりたい。今日いただきましたご意見等につきましてはこの次の総合計画の中にできるだけ反映をしていきたいということで今回フォーラムを開催させていただいた所存でございます。ぜひ時間がないなかではございますけれども忌憚のないご意見をいただきましてこの会が成功になりますようお願いして開会の挨拶といたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 2. あいさつ

### 【座間市長 遠藤三紀夫】

皆さんこんにちは。座間市長の遠藤三紀夫でございます。今企画財政部長からお話しございましたように、大変お忙しい中そして今日市内でも行事が目白押しでございます。あちこちで一生懸命市民のボランティアの皆さん中心になってイベント開催していただいたりしておるわけでございます。そうした中でまちづくりフォーラムにご参集をいただいたわけでございますが、どうか今日この時間がこれから策定をしていきます仮称第四次次期総合計画の策定に向けて有意義な時間として共有ができればというふうにするわけでございます。

さて、第四次の総合計画、次期総合計画でございますが、平成23年の4月からそれに基づいたまちづくりそして行政などの運営というものを行っていくようになるわけでございます。

これまで私が市長に就任し半年が経過した段階、この4月からこの策定作業についてスタートさせていただいでございますが、4月の18日にこれはまちづくりシンポジウムということで私の所感、そして産業能率大学の斉藤先生にお話しを頂戴し、市民代表の皆さんとパネルディスカッションを重ねたり、それからその後この計画策定に向けての広範の意見徴収の一環ということで8月に子ども議会ということで座間市内の小学校中学校の代表の皆さん23人に集まっておいで、それぞれの立場で日頃から感じていらっしゃる市政のあり方、疑問そしてこうあるべきではないかという意見・ご指摘をいただいたわけでございます。それに対して私共も答弁を申し上げる中で新鮮な気持ちで新たな課題というものを感ずることが出来た経緯もございました。そしてその一方で市民から無作為に抽出をさせていただいた皆さんに対してまちづくり討議会ということでこれからご参加をいただきながら5回にわたる討議の場を設けさせていただいたり、また一言ずつのご意見の聴取ということで全世帯に、これはタイムラグが多少あったと思うんですけども、水道検針の際にご意見をいただくべく葉書のほう

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	2/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

をお渡しいたしましたしてこれをおあずかりしている部分もございます。そして先週からはこの総合計画策定に向けての懇談会ということで、まず月火水と3日間にわたりまして市内において様々な立場から市政にご参画いただき、またご協力いただき、日頃お世話になっております団体の皆さんにご意見いただきたいということで懇談会の場を設けさせていただきました。2時間にわたる大変貴重なご意見拝聴の場を作らせていただいたわけでございます。そしてこれから後にこの10年半ば以降に今度は市内大きく6つの地区に分けて、地区別の懇談会ということで私どもが考えております基本的な構想にしたがって、それをお読みいただいた中でご意見をいただく機会というものを作って参る予定であるわけでございます。

総合計画の策定、総合計画という言葉を申し上げますと何やら非常に堅いイメージがあるわけでございますし、過去からこれまでの間特に戦後半世紀余にわたる間において日本が高度経済成長を遂げ、非常に物質的に豊かな国になっていく過程の中で行政が国は国、そして地域は地域としてそれを指導しながら都市基盤の整備ですとか諸々の素案というものを先導しながら推進をしていく。その大きな指針としてこの総合計画が位置づけられ取り組まれてきた。

その中でハードウェアすなわち都市基盤整備というものがどうしても象徴的にイメージされる場面そういう部分というのが非常に強かつたのではないかというふうに思うわけでございます。

しかしながらもうあちらこちらでお話し申し上げますし、皆さんも当然ご存知の少子化社会、高齢化社会という私ども日本の国がいまだかつて経験したことの無い大きな転換点を過ぎ、これからそれを受容しながらこの社会、コミュニティというものを安心安全でそしてしっかりと調和をしながら暮らしていけるようなまちづくりをしていかなければならない立場の中で、過去のような考え方だけでは済まない部分が大変あるわけございまして、そのあたりをきちんと盛り込んだ計画策定というものをしていかなければならないとこのように思っております。

この10年間という期間、これは今の変転極まりない世の中の流れからすれば、ここで決めたものが全て最後まで思い描いた通りになるかといったらば、私はそうではないというふうに思います。現在それにしたがって市政の遂行がなされています。

第三次総合計画を見てみましても平成3年に第三次総合計画の前期計画がスタートし、10年の前期が終り、平成13年からは後期基本計画にしたがって現在あるわけでございます。この平成3年という頃を思い描いても、バブル経済がピークを迎えそれがどうも傾きはじめて、まさにこの第三次総合計画がスタートしてからのというのは下向いた10年と言われた10年とちょうど合致をしているわけございまして、その時期にその前の段階で計画立案をされた座間においては都市基盤整備の中でも核作りの関係、それから下水道の面整備の関係ですとか、公園整備の関係ですとか、それまでこのまちにとって懸案となっていた都市基盤整備を一挙に解決するべくアクションをとったわけですが、それが時期的には非常に皮肉な時期に重なってしまったということがあったことは皆さん共通認識だというふうに思います。しかし、そこで培った大きな基盤というものをこれをひとつの糧としながら、またまちの財産としながら新たなこの座間のまちの皆さんにとっての安心安全幸せのまちづくり、調和のとれたまちづくりという

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	3/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

ものやっつけていかなければならない。そうした中での模索の10年というのがあり現在それにしたがって進行中であろうかと私は思っておるわけでございます。

これから先の10年、そうした前提を踏まえながらそして先程申し上げたような少子化社会、高齢化社会というこうした前提を踏まえながらいかにしてこのまちを市民にとって素晴らしいものに出来るのかということ、これをやはり市民こぞってお考えをいただく、これが私は絶対に欠かすことが出来ないことだというふうに確信をしておるわけでございます。そうしたなかで市民の皆さんが何をとお考えになっていらっしゃるのか、そうしたことを最大公約数的に私どもの方に集約をさせていただき、そのためには、やはり色々なお立場で色々な角度からご意見をいただく機会を作らせていただき、それを整理させていただき、共通目標として総合計画に編みこんでいく。こうした一連の作業をさせていただきたいというふうに思っておるわけでございます。今日はそうした中でのひとつの表れといたしまして、皆さんにお集まりいただきながら共に考えるという機会を作らせていただいているわけでございます。

国の方は、この1年間リーマンショックから始まったこれも大変大きな不景気、経済不況というものを経験しながら、この8月の末には、これもやはり戦後このかた経験したことがなかった選挙による国政の政権交代というものもあると思います。国民全体がこれからの日本のあり方に対してどうしたらいいんだろうか、何が一番良いんだろうかということについて真剣に考え、模索をしている時期、これが今であろうかというふうに思います。そういう面でも、忌憚のないご意見を頂戴しながら、そしてこの計画についてはフレキシブルに現状に即したかたちでローリングすなわち回転をしながら取り組みをしていくという方向性を打ち出しております。どうかそのあたりを十分にご理解をいただきながら、この議論を深めさせていただければというふうに思うわけでございます。

まだまだ話したい部分もあるんでございますけれども今日は意見交換の場がいちばん大切でございまして。私の挨拶はこのあたりで閉じさせていただきまして今日のこれからの趣旨説明、そして朗読、さらには意見交換の場に移っていきたくと思います。どうか有意義な時間になりますようにご協力お願いいたしまして私からのお願いとご挨拶と致します。ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

### 3. 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

#### (1) 職員紹介

それでは議題といえますか、総合計画の趣旨説明のほうに入りますけれどもここでちょっと時間をいただきまして本日市のほうから出席していただいております、職員のほうを紹介をさせていただきたいと思っております。まず今挨拶いただきました遠藤市長でございまして。それから副市長の小俣副市長でございまして。それから教育長の金子教育長でございまして。それから今日このフォーラムにつきましてご協力いただいております神奈川県聴覚障害者福祉センターから要約筆記をお願いしております。あわせて、座間市の手話通訳者会からも手話のお願いをしておりますのであわせてご報告をいたします。よろしくお願いいたします。

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	4/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

それではさっそく本題のほうに入りたいと思います。趣旨説明につきまして、今日は、総合計画の位置付けを、これまでの取り組みの状況について、さらに都市マスタープランの改定につきまして、それぞれ担当のほうからご説明をしたいと思いますので、本題に入る前に大体の説明を申し上げたいと思います。よろしくお願ひします。

まず最初に、総合計画の位置付けとこれまでの取り組み状況につきまして、政策課の山本からご説明をさせていただきます。よろしくお願ひします。

## (2) 趣旨説明及び総合計画位置付け等説明

政策課長の山本と申します。よろしくお願ひいたします。本日はご多忙のところご出席いただきましてあらためてお礼申し上げます。まず最初に資料のほう確認させていただきたいと思ひます。本日お配りした資料でございますが総合計画の策定の趣旨と枠組みというホチキスどめのこのような資料、それから四角で囲んでまとめた上下の印刷したもの、それから1枚の総合型プランとはという裏表の資料、それから地域別懇談会のパンフレットでございます。それから時期総合計画策定ニュースレターというものを今3回出しており、それをお配りしております。以上でございます。何か不足等ございましたらお申し付けいただければと思ひます。

過不足等なければこれからご説明等入りたいと思ひます。

お手元の資料の四角で囲んだ上下のもの、資料をご覧になっていただきたいと思ひます。まず1ページ目の上でございます。冒頭お話しがありましたように、総合計画につきましては地方自治法という法律で策定が義務付けられております。また市政運営の根幹となる大変重要な計画でございます、これまで座間市におきましては昭和47年座間市総合計画策定しております。これが最初の総合計画でございます。次に、昭和55年度から平成2年度までの座間市新総合計画、これが2番目の総合計画でございます。そして、今現在の第三次座間市総合計画、これが平成3年度から22年度まで。みなぎる活力とやすらぎが調和するときめきのまちという将来像を目指して取り組んでいるところでございます。この計画があと1年半という期間で終了することになり、新しい総合計画策定に向けて全市で取り組んでいるところでございます。

新しい総合計画策定にあたりましては、市民の皆様方からのご意見等十分にお伺ひするなかでそれらを計画に反映することで総合計画が市民の皆さんと共有する目標として定めまして、ひとりでも多くの方々が住んでよかったですと思えるようなまちとなるように努めてまいりたいと、そのように考えております。

これまでの取り組みについて簡単にご説明申し上げます。

本年3月に小学生を対象にしまして絵画コンクールを実施しております。これにつきましては、小学生児童から500以上の作品が集まりまして、どれもふるさと座間を想う気持ちで溢れる作品ばかりでございました。

次に2ページ目の上でございますが、3月にはどのように新しい総合計画を策定していこうというような策定方針を提案させていただいております。

4月には18日でございますが、まちづくりシンポジウムというものを、事実上、市民の皆さま

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	5/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

んとの総合計画策定のキックオフとして開催させていただきました。これには125名の市民の皆さん方の出席がございました。

それから2ページ目の下でございますけれども、8月8日子ども議会を開催させていただきました。この中では座間子ども議会宣言というものが採択されて発表されております。

3ページ目の上でございますけれども8月から9月にかけてまして冒頭市長のほうから申し上げた通り、水道検針にあわせまして各世代また事業所に5万4千500余の葉書をお配りいたしまして、現在1000を超えるご意見等をいただいている状況でございます。

それから3ページ目の下におきまして、9月28,29,30日にそれぞれ各種団体の代表者の方々から健康福祉、生活・環境・産業等、教育文化という分野別にお集まりいただきまして、ご意見等をいただいている状況でございます。

そして4ページ目でございますけれども、これは本日のまちづくりフォーラムの内容でございます。

その下にですね、これから開催することになりますけれども10月14日から22日までの間、市内6箇所におきまして地域別懇談会を予定させていただいております。ぜひお近くの会場に足をお運びいただければと思っております。

5ページ目の上でございますけれども、10月30日から11月12日のうちの5日間に市民まちづくり討議会を開催させていただく予定でございます。これにつきましては2000名の市民の方を無作為に抽出させていただきましてご参加を呼びかけ、まちづくりについて討議していただくという新しい試みでございます。

市民の方々の参加に関する取り組みについては以上でございます。

本日お配りしたニュースレター等は自治会回覧させていただいたりしておりますので、ご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますけれども、今後このニュースレター、ホームページ広報座間等で総合計画の策定にあたる進捗状況について随時お知らせしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは次に策定の趣旨のほうと今の資料を見比べながら説明させていただきたいと思えます。まず策定の趣旨でございます。これにつきましては、上下の資料の5ページの下にありますように平成4年のバブル経済の終焉、それから12年の地方分権一括法施行、それから17年には日本の総人口が減少しはじめたという、それからまた少子高齢化の到来、三位一体の改革、財政の放置国家、それから平成の大合併によりまして来年の3月には平成11年に比べて46%の市町村が減少になっているというめまぐるしい社会状況の変化があると。また平成12年には介護保険法の施行とか20年には後期高齢者医療制度の導入がございまして、これも政権が代わった今、来年再来年には、また、様々な政策、制度等の変更が検討されているというような状況でございます。このような社会状況、経済環境などを考慮しまして長期的な視点にたったフレキシブルな計画になるように有効に働くような計画にしなければいけないというところでございます。そのような内容で記載させていただいております。

また計画期間構成でございます。これにつきましては今の四角で囲ってある5ページの上と

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	6/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

下を見比べていただければと思います。6 ページのほうの上では第三次座間市総合計画の、計画の構成が書いてございます。いちばん上に基本構想としまして20年間、平成3年度から22年度。その下に前期基本計画10年、後期10年とそして実施計画、そのような構成になっておりました。それを下に次期総合計画の計画期間を打ち出しております。基本構想10年と第三次総合計画であった基本計画をなくして、なくしてと言いますか、基本構想に含めまして実施計画と。それともう1つはより具体的に重点的に取り組む計画としまして、戦略プロジェクトというのを新たに策定するというのを打ち出しております。

また、人口の変化でございます。これにつきましては7 ページの上に今後の推計のグラフが書いてございます。上が人口でございます。下が世帯数でございます。これを見ますと、現在は座間市の人口は微増を続けておりますけれども、やがてはそれも下降に向かっていくだろうというような推計になっております。それから、そのページの下には年齢の3区分別の将来人口の推移でございます。これによみますと65歳以上の高齢者の占める割合、高齢化率というのは急速に高ぶってきていると、スピードがあがりますとこのような構成に変化していくというふうなことが記載してございます。

それから土地利用でございます。土地利用につきましては8 ページの上になると思いますが、けれども17.58km<sup>2</sup>、1758haのうちの71.3%が市街化区域でございます。これにつきましては県央地域では大和市に次いで2番目に市街化区域率が高いというような状況でございます。そして平成2年度からの変化をみますと都市的利用が増加しております。工業運輸農地が減少しているというような状況が見てとれます。

また、策定の趣旨のほうの分野別の特性と課題というところを見ていただきたいと思っております。これにつきましては、4 ページ6 ページにございます。1番目としまして健康福祉、それから2番目としまして市民参加・コミュニティ、3番目としまして教育・生涯学習・スポーツ、4番目としまして都市基盤整備、5番目としまして環境・廃棄物、6番目としまして産業、7番目としまして行政経営、それぞれにつきまして本市における特性と課題というものを、こちらのほうに並べさせていただいております。これにつきましては読んでいただければと思いますので省略させていただきたいと思っております。

それから次の6 ページでございます。こちらにつきましては、現在の社会基盤、本市並びにわが国の社会潮流というものをまとめさせていただいております。1番目といたしまして人口減少社会、高齢型社会の進展、2番目としまして地方分権から地域主権社会へ、3番目としましてソーシャル・マネジメントの時代へ、4番目として低炭素社会の具体化、5番目として情報化の進展、6番目としまして社会と経済・雇用構造の変化、7番目としましてグローバル化とフラット化の進展、8番目として安心安全の確保、9番目として教育環境の変化と教育改革、そのような社会潮流についてこちらのほうにまとめさせていただいております。

そして7 ページにつきましてはこれらを実行していくにあたりまして、実効性のある計画というようなことで中段にございますけれども、第四次仮称でございますけれども総合計画は座間市民が共通して目指すことが出来る将来都市という都市像や市民生活像を掲げその実現に向けて市役所と市民の方の役割分担を明らかにして協働で取り組み計画して策定しますという

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	7/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

ふうにさせていただきます。なおその下にはソーシャル・マネジメント、ユビキタス社会、ソーシャルビジネスという注釈をいれさせていただいている状況でございます。

そして、座間市の目指す姿と言うことで将来都市像をまちのテーマとしてこのようなかたちを今目指して、これから目指すということでまとめさせていただいております。1番目としまして、健康への取り組み 安心 健やかなまち、2番目として、自立 ぬくもり 支えあうまち、3番目として、共に考え 共に歩む 安心のまち、4番目として、豊かな心 明日への希望 育み合うまち、5番目として、安全 憩い 快適なまち、6番目として、おいしい水 安全な水 衛生的なまち、7番目として、環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち、8番目として、未来志向 的確な判断 確かな希望を抱ける経営、9番目として市民起点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所、その将来都市像を目指していきたいというふうに考えております。

この将来都市像を市民の皆さんのご意見を伺いながら今後まとめていきまして、さらにこの将来都市像を実現するための市民生活像はどうあるべきか、どのように実現していくかというようなことを今後検討を重ねまして示していきたいと思っております。

以上で私の説明を終わりにします。

### (3) 都市計画マスタープラン趣旨説明

都市計画マスタープランの位置づけ、改定の目的など、パワーポイントにより都市計画課長が説明。

つきまして総合計画と非常に密接に関係してございます都市計画マスタープランの関係につきまして都市計画課長のほうからご説明さしあげます。

はじめまして都市計画課長の森田です。どうぞよろしくお願いいたします。本日はご多忙のところご出席いただきましてあらためてお礼申し上げます。それでは私のほうから都市マスタープランについて趣旨説明をさせていただきます。座って説明させていただきます。それでは私のほうから法律的な位置づけも含めこちらのパワーポイントでお手元に配布させていただきましたこちらのA4カラーコピーなんですけれども、これに基づきましてご説明させていただきます。短くて申し訳ないんですけども説明させていただきます。

それではまず1点目の都市マスタープランとはからご説明させていただきます。各市町村が作成します都市マスタープランは市町村の都市計画に関する基本的な方針として都市計画法第18条の2に定められている法的な計画になっています。

都市計画の内容としましてはここに書いてありますとおり、土地利用の規制誘導、道路公園等の整備、自然環境の保全などまちづくりをするうえでの基本的な計画となります。計画の策定にあたりましては都市マスタープランは座間市の総合計画、先程政策課長のほうで説明させていただきました総合計画の部門別計画として位置づけられております。都市計画はその実現を図るべきものとなっております。

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	8/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

また、ここにも書いてありますとおり都市計画につきましては、都市計画法の都市計画区域の整備、開発および保全の方針という法的なこともあわせて即するかたちになっております。また市民等の意見も反映させていくことも求められております。

座間市の都市マスタープランの概念図を示しますとこのようなかたちとなります。国・県の計画、市の計画これらをつなぎ座間市の都市マスタープランを作成します。これをうけて、分野別計画、まちづくりをするうえでの分野別計画の策定、具体的な都市計画として地域等の根拠となるものが都市マスタープラン。

次に2点目としまして、座間市都市マスタープラン改定の目的としましては現在の座間市都市マスタープランは平成13年3月に策定させていただきまして約8年が経過しております。この間都市計画法の改正や少子高齢化の進展、人口減少時代の到来をはじめとする社会的状況が本市を含め大変現在変化が生じております。このような背景をふまえて現計画を検証し、検証した上で時代に即した計画を策定することとなります。またスケジュールとしましては平成21年度と22年度の2か年を予定させていただいております。

また、座間市都市マスタープランの策定につきましては総合計画と連携をとりながら改定に向けた業務を今年度の夏より着手させていただいております。今回策定します都市マスタープランは、神奈川県神奈川力構想、各種上位計画や座間市景観計画など関連計画との整合を十分配慮すること、となっております。

次に3点目の計画期間なんですけれども、この都市マスタープランは概ね20年後の予測をもとに平成32年度を目標年度とした今後10年間にわたる都市づくりに関する部門的な方針を示したいと考えております。なお、この計画策定の社会経済情勢の変化等をとらえ適宜必要な見直しを行うことも考えております。計画期間としましてはこのように平成32年度を予定しております。

次に4点目の座間市都市マスタープランの構成としましては本市の将来の基本構想に基づき、市全域を対象とした全体構想と市民に身近な地域を対象とした地域別構想、並びにこれらを実現するために、実現化方策として構成する予定でございます。

全体構想としましては将来目標、都市像の設定をさせていただき都市づくりの方針を定めさせていただきます。地域別構想としましてはおのこの地域の都市づくりの方針を定めさせていただきたいと思っております。実現化方策としましては都市マスタープランを推進するための方策を定めさせていただきたいと思っております。以上が都市マスタープラン改定の趣旨説明となりますが、いずれにしても各種団体との懇談会や今後予定されております各種市民参加の過程での幅広い市民の皆様からのご意見等をお聞かせいただき、都市マスタープランへ反映させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。以上で私の説明とします。



件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	9/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

#### 4. 「2020年の座間 未来の日記」朗読

##### (1) 朗読者及び趣旨説明

座間市民の生活を想像して日記にしたものでございます。選定しました今回9つの市民生活像、ビジョンにつきまして小学校児童10歳から高齢の方73歳までの5名の架空の人物ということで作ったものでございます。具体的にこれから意見交換をするわけなんですけど、そのイメージ作りということで未来日記というものを作ってみました。なお登場人物のプロフィールということにつきましては架空なんですけれども、次期総合計画の策定に生まれまして平成32年に小学校4年生になっている男子、それから20歳代、30歳、それから60歳、70歳の方々の意見ご感想を含めた想定でなっています。今日は皆さんに配布しました資料の中にあります座間市の目指す姿というなかに市民生活像というのが示させていただいておりますが、この順番にしたがいまして未来日記をこれから朗読をさせていただきたいと思っております。なお朗読につきましては市内録音奉仕福祉グループの泉の会の青木なさ美さんより朗読をいただきしたいと思います。それでは青木さんよろしく願いいたします。

##### (2) 朗読

健康への取組み 安心 健やかなまち

市民は、自らの健康づくりに励み、ライフサイクルを通じて地域の包括的な保健・医療サービスを受けられることによって、安心して健康な生活を楽しんでいます。

2020年の座間 未来日記

私は、座間市に住む62歳の男性です。単身赴任で家を離れる事が多かったのですが、ここ数年は自宅から横浜市の職場に通勤しています。

子ども達も巣立ち、休日に妻や友人達とで山登りやハイキングに行くのが日課となっています。単身赴任時代に少し料理を覚えたので、平日の夕方にNPOが企画している「男の健康料理レシピ」に通い、生活習慣病にならない料理を妻に披露するのが日々のひそかな楽しみになっています。おかげさまで、以前より私も妻も健康診断の結果が良くなっています。

先日、急に熱が上がったので近所の診療所にゆきました。風邪だったようですが、先生に、とても親切に診療していただきました。帰りがけに“かかりつけ医”について相談したら、こころよく引き受けていただきました。

以前、山登り仲間が体調を崩した際、“かかりつけ医”に相談し専門の大学病院を照会して頂き、事なきを得たと聞いたことがありました。通常だと、あの大学病院に行こうとは考えないと思いますので、妻からも早く“かかりつけ医”を見つけるよう催促されていました。

退職後も健康で安心して暮らせるよう、できることを今からはじめています。そうそう、私が通っている「男の健康料理レシピ」には、40歳代ぐらいのサラリーマンも多く顔を出しています。最近の若い人は、健康管理がしっかりしていますね。

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	10/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

自立 めくもり 支えあうまち

市民は住み慣れた地域社会のなかで、自立し、互いに助け合い、支えあって、生涯を通して健やかに暮らしています。

2020年の座間 未来日記

私は、夫とともに30歳代半ばで家を買って、座間市に引っ越してきてからもう40数年、当時近所では、毎週のように引っ越しがありご近所さんがどんどん増え、子ども達も多くにぎやかなまちでした。みんな年をとり、この近所はほとんど70歳以上、高齢者のまちです。

でも、悲壮感は無いです。子ども達のかん高い笑い声は少ないのですが、ご近所同士、それぞれ上手く間合いが取れていて、自主的な“かい食会”が開かれたり、あまり表に出てこない方でも玄関には“お助け情報”がしっかりと貼られているようですし、各世帯を見回るボランティアが訪問した際には皆さん笑顔で応対してくれます。ご近所同士、根っこでは、繋がっているのだと思いますよ。

皆さん“お助け情報”って知っていますか、座間市では10年ぐらい前から、ある自治会が主体的にはじめた取り組みのようですね。今では、各地区で色々と工夫され、市全体に広がっています。

そうそう、私は長年福祉のボランティア活動を行っていますが、10年前と大きく変わったことがあります。

ひとつは、若い方々が福祉活動に積極的に参加するようになったことです。10年前は、このまま高齢化して活動を引き継ぐ人がいなくなるのでは、と心配したのですが、若い人達の価値観を前提に、仕事と家庭と地域活動とのバランスを保つ仕組みや、ソーシャルビジネスと言うような取り組みが行われた結果のようです。

ふたつ目は、私の夫が退職後にご近所の方に誘われ、ボランティア活動を始めたことです。一人暮らしのご老人や身体の不自由な方の、ちょっとしたサポートをしているようです。本人は、「介護保険と民間サービスとのすき間を埋める」と言って、張り切って活動しています。

私は、この春に近隣の市から、夫とともに引っ越してきた35歳の女性です。子どもを授かり、それまでの住まいでは手狭になったので新居を探していました。

座間には主人の勤め先があるのと、何より働きながら安心して子育てをする環境が整っていることがきめ手となりました。

近隣の市に住んでいましたので、以前から座間市は比較的保育環境が整っていると聞いていましたが、10年程前から市役所、市民、民間保育所が子育て環境を維持し、より一層充実するためにとことん知恵を絞った結果だと、夫と一緒にいったマタニティ講座で、講師の先生から聞きました。

共に考え 共に歩む 安心のまち

市民相互や市民と行政との連携により、多くの市民が各々の個性を生かし、まちづくりの主役として活躍することで、市民生活が豊かになっています。

多様な地域コミュニティが活性化し地域の連帯感が増すとともに、防災・消防体制が整うこ

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	11/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

とで、安心して生活できるまちになっています。

市民は、生活する上で様々なトラブルに巻き込まれること無く、また、差別や偏見が無い地域社会で安心して暮らしています。

#### 2020年の座間 未来日記

春に引っ越してきて市役所で転入届けを出した時に、母子手帳の交付など手続きがスムーズなのと自治会に加入するように勧められたのは驚きでした。

今まで、アパートに住んでいたのと、共働きで昼間は家にいないので、自治会どころか市役所という存在を意識したことはありませんでした。自治会に入るのは、少し気が重くなりましたが、ゴミも出しますし、子どもも生まれご近所づきあいも必要だと思いましたので、自治会長さんをご紹介いただき入会する運びとなりました。

引っ越してきて最初のころ、空き巣に入られそうになったことがありました。留守の時間を見計らって尋ねてくる人がいたらしく、ご近所の方が不審に思って交番に連絡していただいたおかげで未然に防ぐことができました。

夫は、座間市内の事業所に勤めていることもあり、近所に住む職場の同僚からも自治会や消防団の活動に誘われていたそうです。空き巣の一件があつてから、すっかりご近所づきあいの必要性を考えるようになり、自治会と消防団の活動に積極的に参加するようになりました。

でも、実は、活動後の懇親会で幅広い年齢や職業の方々と仲よくなり、お酒を飲むのが楽しいことを私は知っています。

子どもが生まれ、3ヶ月検診の後などで他のお母さん方や、保健師さん、ボランティアの方々と話しながら、つくづく凄いなあと思ったのは、子育てに限らずですが、市役所、自治会、民生委員、NPOやボランティア団体など、様々な人達が絶妙に連携しあっていることです。

座間市に引っ越してきて、様々な方々が市民みんなの生活をサポートしているから、暮らしやすいまちになっているのだということを実感しました。

#### 豊かな心 明日への希望 育み合うまち

市民は個性を尊重し、社会の一員として自立と共生の中で学びあい、知・徳・体の調和の中で伝統・文化を重んじそれぞれのライフステージにおいて教育の向上を目指し、豊かな心を育み、その結果を生かし、社会形成に主体的に参画する協働のまちづくりの中で豊かな生活を送っています。

#### 2020年の座間 未来日記

僕は、座間の小学校に通う4年生です。平成22年生まれで、ちょうど10歳。

今日も一年生の妹達を連れて学校へ行った。僕が上級生から教わったように、今では僕が妹達に、登下校で気を付けなきゃいけないことや、学校でのルールを教えているんだ。

学校での楽しみと言えば何と言っても給食。本当に美味しくて、おかわりはいつもすごい競争になる。この間授業で近くの田んぼと畑に行ったんだけど、そこで育ったお米や野菜で給食を作っているんだって。

この街には安全に遊べる、僕たち子どものための場所がたくさんあるんだけど、イタズラと

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	12/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

かすると、どこで見ているのか、直ぐに大人の人達に注意されるから嫌になる。

でも、その話をお父さんにしたら「だからお前達は安心して遊んでいられるんだぞ」って言われた。大人の人達にはいろいろ言われるけど、勉強も楽しい事もたくさん教えてくれるから、やりたいことがイッパイになって、毎日ワクワクしています。

ワクワクしていると言えば、お父さんとお母さんもだよ。二人とも昼間は忙しく働いているけど、時間をみつけてはハーモニーホールでやっているイベントに行ったり、市民体育館やグラウンドでスポーツしたり、図書館で本を借りたりしている。一緒に行くこともあるけど、いつも大勢の大人がいるんだよ。みんな、ホント、楽しんでいるよね。

#### 安全 憩い 快適なまち

市民は、安全で環境負荷の少ない交通環境、安心して住み続けられる居住環境、市民が集い、憩うことのできる空間が確保され、快適な都市生活を営んでいます。

#### 2020年の座間 未来日記

私は、単身赴任で色々なまちを見てきました。当然、座間より便利なまちもありましたし、自然豊かなまちもありました。道路だって立派にきっちり整備されているまちだってあります。単身赴任時代は、休みの日に座間の自宅に帰ってくると、道路も狭いし、駅前もパツとしないなあと感じていましたが、10年前に海老名インターチェンジが開通したあたりから、だいぶ変わってきたので驚いています。

「自動車のナビゲーションのデータを入れ替えない」と思いつつ、あそこの工事が終わってからと考えているうちに、入れ替え時を逃してしまっています。そうそう、自動車で思い出しましたが、今じゃガソリンで走る車は、一部の車種と輸出用にしか作っていないらしいですよ。

休日は、妻や友人達とで山登りやハイキングに行くのが日課となっていますが、座間市内での散策も結構楽しんでいます。以前は不便としか思っていなかった、まちのアップダウンが適度な運動にもなりますし、芹沢公園や谷戸山公園、相模川、それに湧水などが点在していて、よい休憩場所になっています。

それに、20数年前に子ども達と手をつないで歩いた時を思い出しながら、市内で散策するのは楽しいですね。何と言っても、昔よりも景観とか環境っていう事をみんな考えているみたいで、歴史のある木々や神社、湧水の周辺など、いがいと贅沢な本物をわかっている大人のまち、という感じがします。

#### おいしい水 安全な水 衛生的なまち

市民は、安全でおいしい水の供給を安定して受けています。また、下水道の適切な維持・管理により、衛生的な生活が営めるとともに、大雨の時でも浸水などの被害が少ないまちになっています。

#### 2020年の座間 未来日記

他のまちと座間を比べると、色々な再発見がありますね。単身赴任をして、直ぐに気がつい

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	13/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

たのは、水道の蛇口をひねって出てくる水の味でした。最近でも、トレッキングに出かけたり、市内を散策したりするときに再認識しているのは、座間は「水のまち」なんだなあという事です。赴任先で知り合った友人が家に遊びにくる時には、ペットボトルに入った市販の座間の水を用意しておいて、冷やして帰りがけに渡しています。意外と好評ですよ。世界的に水の問題が話題になっていますね。

先日、市内を散策していたら、子ども達が川に入っていたので何かと尋ねたら、水生生物の調査を行っているんだ」と応えてくれました。すんでいる生物の種類によって、水のきれいさがわかるようで、ここ数年市内の川は「きれいな水にすむ虫がいるんだよ」って子ども達が教えてくれました。

20数年前、我が子達には「川は汚いし、危ないから近づくな」って言っていたけど、最近は注意のしかたも変わったんでしょうね。

#### 環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち

市民や事業者は、世界的な地球温暖化への取り組みや、ごみの分別や減量化・資源化など環境負荷の軽減に積極的に取り組み、自然と調和した良好な環境を形成しています。

産業においては、個々の経営が安定していることはもとより、農商工連携のもとで地域資源や観光資源の活用などにより、地域経済の活性化が図られるとともに、安定した雇用と福利厚生などにより、充実した生活環境が維持されています。

#### 2020年の座間 未来日記

私は、座間市生まれ、座間市育ちの27歳女性です。

理屈っぽいのが親譲りなのか、理工系の大学・大学院へと進み、先端技術に関わりたくて、教授の推薦もあり今の企業に就職しました。長い研修が終わって配属された先がここで、とっても驚いています。

私が高校の時、ちょうど10年ぐらい前の進路を悩んでいた時、テレビや新聞で「地球環境」が大きなニュースになっていましたが、当時は具体的なことはよく分かりませんでした。今、座間は、世界に向けて「環境技術」を発信する拠点になっています。そんな中で、世界各国の一流の技術者達と働けるのは、とってもラッキーです。

仕事柄、生活が不規則になったり、ストレスが溜まることも多いのですが、昔からの友人が結構市内に住んで、働いている人がいますので、たまに駅前で食事をしたりしています。以前よりは、私達でも行きやすいお店が増えましたね。

友人達と話をしたり、座間で働いてみてとても驚いたことは、地域の産業がとてもキメ細かに連携していることや、その技術が一流のものばかりだということです。今の時代も、最後は職人技に頼っているのが本当のところ、すごい技術を持つ人や企業が多いのも座間のすごいところですよ。

この前、高校の同級生が認定農業者になったって連絡がきたから、お祝い会を開きました。昔は無口だった同級生が、農業のスペシャリストになるんだ」って熱く語りはじめたのには驚きました。数日後に、教えてもらった地産地消のスーパーで、彼の顔写真と野菜とが並んでい

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	14/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

るのを発見し驚きましたけど、誇らしい気持ちにもなりました。

62歳になり、単身赴任を繰り返したサラリーマン生活も最終コーナーを回り、自宅にいる機会が多くなると、妻との共通の話題を見つける必要性をつくづく感じています。

今は、山登り、トレッキング、健康レシピ、ご近所の高齢世帯、自分達と年老いた両親の介護の話題が主ですね。

家電の使い方の訪問指導、地元農産物や買い物の宅配、過去の通院と投薬から健康生活へのアドバイスなど、高齢者の生活を支える色々な民間のサービスが質・量ともに増え、何を利用したい、ここは評判が良いとか、安い、高いとか…、高齢者の時代ですね。

高齢者向けの色々な商売や公共サービスがあるのを何故知っているか…、実は情報源は市役所の逆引き検索システムというものなのです。年齢や興味のある分野など、基礎的な情報を入力すると、利用可能なサービスなどが一覧で分かるというもので、最初は行政情報だけだったようですが、今では公益的な民間サービスについても検索できるようです。

当然、パソコンが使えなくなると、調べられるように工夫されています。

未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営

市役所では、目標達成に向けた施策の重点化や財源の有効配分を行うことで経営資源が有効に活用され、柔軟で機動性の高い行政経営が行われています。

また、財政基盤の強化、資産の適切な管理・運用を行うことで、社会情勢が激変する時代においても将来にわたり持続的に発展可能な希望をもてる都市となっています。

2020年の座間 未来日記

今、40年間のサラリーマン生活を振り返ってみると、激変の時代の真っ只中を生きてきたのでは無いかと、つくづく感じています。激動の80年代と言われた入社当時こそ景気が良かったのですが、バブル経済の崩壊に始まり、管理職になってからは世界規模の大不況への対応、社会の価値観や世界経済情勢が予測できないスピードと規模で激変し、常に前例の無い中でのチャレンジの連続でした。

色々な土地に赴任して、それぞれの市役所の状況も耳に入ってきました。

正直に言って、昔は、座間市はどうなるのかと心配していました。市役所や文化会館は立派なのができましたが、その後は、財政悪化の話が大々的に出てきましたね。

ちょうど、会社の財務部門にいましたので、どうして市役所が倒産しないのか、不思議に思ったぐらいでした。

今は、我々民間企業と同じように発生主義の会計で、減価償却分を補う程度の資金も準備されていると聞いています。

市役所、市民、民間企業など垣根を越えて、ボランティアだけでは無い本当の意味での協働に取り組んだ成果だと思いますし、その方向に、しっかりと舵を切れたのが10年ほど前だったのでは無いでしょうか。当時は、単身赴任していましたが、会社のことで頭がいっぱいで、座間市のことを考える余裕はありませんでしたが、今、色々な方に話を聞くと、そんな風に思います。

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	15/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

市民起点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所

市民は、市民起点で柔軟な発想と主体的な行動ができる職員や市役所に対し、十分な信頼感を持っています。

2020年の座間 未来日記

春に引っ越してきて市役所で転入届けを出した時に、母子手帳の交付など手続きがスムーズなのと自治会に加入するように勧められ、驚いたことは先ほどお話したでしょうか。

実は、その時に市役所で応対していただいた方の印象が良かったのを覚えています。今は育児休暇中ですが、それまでは、私もある会社の顧客窓口を担当していましたので、接客の難しさは理解している方だと思います。

その日は、高齢者の方、子ども連れの方、外国の方など、様々な方が窓口にきていましたが、総ての方に配慮された、気持ちのいい対応をされていましたね。

最近、夫が消防団の関係で市役所に行った際も、市役所の方が一緒になって熱心に解決策を考えていただけたようで、夫も「俺もやる気が出てきたよ」と笑顔で話していました。でも、その後、近所の仲間と飲みに行ったようですがね。

以上

## 5. 意見交換

### (1) 意見交換の趣旨

### (2) 意見交換

#### 【コーディネーター】

皆さんこんにちはパシフィックコンサルタンツの齋藤と申します。専門は公共経営のコンサルティングをさせていただいています。今日はまさしく協働社会が本格化するなかで座間市さんがソーシャルマネジメントと申しますか、各いろいろな市役所の方々市民の方々いろいろな立場の方々がともに対等な立場で色々意見を、話し合いをしていくということでこちらには市の方もいらっしゃいますし、市民の方もいらっしゃいます。それら皆さんの方々意見を話し合いを明確にしていいただくということで第三者の役割として、ここにコーディネーターということでさせていただきます。話しをまとめるというような役割ではございませんので、皆さんのお話しが円滑にそして多くの方にご発表いただけるようにしていきたいと思っておりますので、皆さんご支援のほうお願いしたいと思っております。それでは座ってやらせていただきます。

今、朗読いただきましたけれども、多分、現状とかなりかけ離れたもしくは現状と大して変わらないものいろいろなものがあったり、あくまでも良いイメージばかりだったりするかもしれませんね。ただこんなまちになってほしいとかこんな生活になってほしいなというところで皆さんイメージが少し沸いてきたんじゃないかと思っております。

そこで、せっかくですのでどうでしょうね、もっとこんなまちになってるはずじゃないか、

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	16/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

もっとこんなまちにしたらいいんじゃないかとか、もしくは今色々やっているなかです。今皆さんが活動されてたり生活する中で、そこはこうだろう、もしくはこれを解決しなきゃそこにはいかないぞと、そんなことがありましたらせっかくの機会ですのでご発言をいただいて、今日は見ての通り、皆さんがお話しをして市がお答えするというよりは、市の皆さんも一緒になって将来どうだろうかというのを考えてまいりますので、皆さん忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

それでは最初とても勇気がいりますが誰か口火を切っていただける方がいらっしゃればと思いますけれどもいかがでしょうか。ご発言いただきたい方手を挙げてマイクがまいりますので、少々お待ち下さい。ではお願いいたします。

### 【参加者】

私はひばりの一丁目に住んでおります〇〇と申します。ただ今の朗読拝聴いたしております、私も何も言う余地がないような素晴らしいものだと思います。

まちのことを考えればいろんな切り口があると思うんですね。まず産業の問題、それから老人福祉の問題、それから公共の問題、そんなようなことを切り口にしているいろんな、ずーっと考えていくとやっぱりつながっていくものであると。

私、今日は子育て支援のことについて今日は言おうかなと思って用意をしてみました。ここに資料として参考までに子どもの福祉、児童福祉課の課長さんに色々質問をさせていただいて、こんなふうに聞いていきました。合計特殊出生率というんだそうですけれども、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した指数と。1人の女性が一生の間に何人の子どもを産むかというこういったことの指数なんですけれども、座間市に関しましては17年度は1.15、18年度は1.28、19年度は1.19。県庁のほうに伺ったんですけど全国出生率というのがあるんですね。これは20年度で1.37と。神奈川県は1.17というような具合で全国平均においてはですね43位、下から数えたほうが早いと。つまり都市部は低いんですね。それもお子さんを産みにくい育てにくいところがあるわけですね。ちなみに人口減少の起きない最低の数値っていうのは2.08だそうです。そこでこのそういう展開をみました場合に、座間市の場合1.15というのは決していい状況ではないということが言えると思います。

次に現在の保育所の待機児童、これを伺いますと座間市は39、ちなみに大和は88、厚木は41、海老名は20、綾瀬はちょっと失礼しますが。そんなところですね。これが現在多いのか少ないのか私ちょっとよくわかりません。これに関連いたしまして、つまり待機児童まあまあいるということ。今テレビでよく子どもの待機児童している親御さんが相談の窓口が相談業務っていうのがなされているようでもありますけれども、うちの市ではそういった窮迫した状況はあるんでしょうか。

それから学童保育のことを聞きたいんですけども学区は11全部で13箇所、学校を使用しているのはそのうちの3校、全体として余裕のあるということなんですけども、これはどういうこと、視点でみて余裕があるのかなと私は首をかしげるんですけど、ある学童保育の施設を見ますと非常に子どもの数が多くていわゆる収容率の限界を超えて、きつい、ゆったりした処遇



件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	17/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

がされてないように思いますね。私は学童保育というのは家に帰ってくる子どもの状況ですから、アットホームで、そして来た場合には教室の片隅には畳かマットをしつらえてそこでお昼寝が出来るような状況、それからおやつ、おやつはこれはあると思うんですね、親がそれを支援するんだと思います。ひばりコミセンでやっているんですけども、そこで入れない子どもがいて相武台のほうに行ってるという子もいるということを知っていますので、余裕があるっていうのは本当にそうかと思えます。私は小さい時に学校があまり好きじゃなかったものから早くうちに帰りたいっていう気持ちがあって、学校で夕方まで学童保育をするっていうのは環境としてはどんなものかなと考えてしまいます。

以上のことから見えてくることなんですけど出生率や、つまり親御さんが子どもを産んで、そして育てやすい状況というのが座間の場合に豊かになされているのかどうかということ。これは母親の就労の問題なんですよね。ですから産業、雇用の問題、就労の問題からもそういうことが考えられると思います。ですからそういうことはきめ細かく考えていくと果たして良いまちであるかどうかは考えなきゃならないことだと。ぜひ親御さんが第二子、三子を産む勇気の出るそういう支援体制を整えていただきたいと思うんです。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございました。日本全国そしてある意味世界的にもフランスだとかイギリスだとか、全世界的にも問題になっているようなお話しで、とても難しいお話しですけど多分これはおっしゃっているように座間市でも大きな問題になっているということでご提言いただいたと思います。

どうでしょうせっかくですのでそういう子育て支援とか学校とかですねそういうようなお話しでご意見があるお方いましたらどうぞ続けて話題を提供していただければと思いますがいかがでしょうか。今お話しいただきましたような子育ての話とか、実はこんなふうな問題があるよ、もしくはもし今日子育て関係もしくは学校教育関係でボランティアとか市民活動とかされているような方々いらっしゃいましたら、実態などでも言っていただければと思いますがいかがでしょうか。いらっしゃいますか。どうでしょう後ろの辺りの、よろしいですか。

なければ話題を変えていきましょうか。今だいたい9つの将来像につきましてお話しをいただきまして、最初にご発言いただいた方、全て色々繋がってるなというお話いただきました。産業の話しもあるれば教育、環境、福祉の話しもあるということだと思いますけれども、皆さんせっかくですのでその他の話しでも結構ですので、皆さん、まちの姿とかですねこういうようなもの、ご意見ございましたらいかがでしょうか。こちら順にお願いいたします。

#### 【参加者】

私は座間に来ましてもう40年になります。その間に変わったことと言えば、市役所が立派になった、ハーモニーホールが立派になった、体育館が立派になった、これだけです。道路がちょっとよくなりません。例えば相模が丘地区、あそこで火事が起こったら消防車入れますか、あの道。私は都市計画の基本は道路整備にあると。そのところ今度の計画で重点的にとりあ

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	18/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

げてほしいと。地震があつて火事があつてきて消防車が入れない。こうなったら一体座間はど  
うなるんだ、そういうマスタープランが無いですよ座間には。そのへんを私は危惧します。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。ちょうど今最初の説明にありました都市計画のマスタープランをこ  
れから改訂するという事で多分今そこにとっても重要な意見として大きな道路もそうでしょう  
が、今のお話しですと住宅地内の消防車入っていけるような道がちょっと厳しいんじゃないか  
と、もし何かあつたらどうなるのと、そこらへんも含めて計画的にちゃんと頑張つてほしいと  
か、特にこの10年間はそこは頑張つてほしいというようなご意見だったと思います。どうで  
しょう皆さんせっかくですのでご発言どうぞ。

#### 【参加者】

四ツ谷の〇〇です。先程の朗読のなかで3番の共に考え共に歩む安心のまちという内容がと  
ても素晴らしくて、あんなまちになつたらいいなという感想を持ちました。ここからなんです  
けれども、そこで読まれていたのが市や市民やいろんなNPOやそういった団体が連携して助  
け合つて安心のまちをつくっているということなので、座間市には協働まちづくり条例とい  
うのが出来まして、ただ参加条例という内容なので、やはり市民の参加をより進めてその協力関  
係を進めることでまちがよくなると思うので、市民活動推進を内容とした条例をぜひとも作っ  
ていただきたいということを思います。

もうひとつあわせて市民活動サポートセンターの機能を高めてほしいということをぜひとも  
提案したいと思うのでよろしくをお願いします。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。今の協働とかです、共に考えるというその将来像かなり良いん  
じゃないかと、ただおっしゃつてるそれを実現するための課題でしょうかね、色々条例なども  
作っていかなきゃならないだろうし、サポートセンターというのもちゃんと充実させていく、  
そうしないと先程の夢物語になる。どうていどうなるかとそういうようなご意見だったと思  
います。続けて、お願いします。

#### 【参加者】

今までにないプログラムに聞かせていただきまして大変おもしろいなと。私も今年退任いた  
したものですから時間がありまして参りました。今までもあつたのかもしれませんが、私の企  
業の企画部門をみますと10年計画、大変結構それぞれ作つて企業を出発したひとりでござい  
ますが。

まず、座間市が神奈川県の中でどういう位置づけにあるのかと。10年計画。日本の中の神奈  
川県となりますが。今日の朗読を聞きますと大変平和な、幸せなまちだなと。それを目指すの  
はわかるんですがそのプロセスが大変難しいんじゃないかと思うんですけども。

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	19/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

まず1つは若い人たちがどうやって飯を食うのか、生活していくのかと、それが入ってないような気がするんですね。リタイアの方が楽しくボランティアなどですね自分の趣味にやるというのは大変平和で幸せなところで、そうあってほしいと思いますが、若い人がいて働く場、稼ぐ人がいてはじめてお年寄りといった、私も一員ですが、楽しく過ごせるのではないかと。それがあまり見受けられない9項目だったなと思います。それがまず第一にあって今まで働いてこられたお年寄りの方がいかに幸せに過ごせるかと。

それで、人間は必ず死ぬんですね。死なない人間はひとりもない。私の遠戚に医者と薬屋がいるんですが、必ず事故で死ぬか、いろんな菌で死ぬか、再生が出来なくてほとんどが死ぬと。死に方が幸せな関係者はどこで死ぬのが幸せだなという話がありますけども、そういったために市民病院が無いと、それをサポートするところがあるんでしょうかということが言えるのではないかと思いますね。幸せなお年寄りの社会みたいな朗読の中には小さい方々も含めてですけども、サポートシステムがどうあるのかというのがまず必要ではないかと思いますね。

それから今朝も犯罪があるんです。今朝、相武台の駐在所に米軍の方が2人連れ込まれていました。たまたま私は用がありましてポリスさんのところいったんですが、相武台の駅長以下3人が米軍2人を連れ込んでいましてね、警察官3人後から若いのがきたんですが、英語がしゃべれるやつが1人もいない。それで安全な座間市なんでしょうかなと。20年後はそんなことないんでしょうけど少なくとも小さな警察に1人2人しかいないといのはですね、米軍キャンプがある私は米軍があることが反対なのではなくて、米軍キャンプと座間市が融合しなきゃならないと思っています。本来なら富士の裾野でも行けばいいんですが不可能ですそれは。戦前から私は座間に産まれましたが、ここは本当に山の中でしたが陸軍の演習場ですよ。これがなくなる。原宿からお召し列車が相武台にきてたんです。そういうまちでですね、出て行けというよりも仲良くうまくやりましょうよというのが本来的だと私は思います。それでその中で市民を守らなきゃいけないと。安全と健康と。そのなかで英語がしゃべれる警官がいないなんというのは今までどうしていたんだろうと。

まだあるんです。座間市が分断されているのは米軍キャンプと小田急なんです。小田急で2つに分けられています。海老名と厚木では高架が全部できておりますね。国の支援で造っております。私は国側におりましたからわかりますけども、少なくとも先程言われた消防自動車が通れないですよ。市役所に行こうって言ったって行かれない。踏み切りのない上か下かですねいくつでも避難できる。これは青森でもですね東海側でも全部そうなんです。ほとんど人の通らないんですが道路だけはすごいです。

それからもう1つ言えば、10年の計画と言いながら私もそうですが必ず見直しをしていたきたいと。10年だったら作ったままずっとだいたい役所でつくるのはこの計画があるからというんですが少なくとも3年にいっぺん4年にいっぺんに全部に見直すと基本計画があると思うんですね。それが絶対必要だと思いますのでよろしくお願いします。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。途中で区切ってしまって申し訳ございません。最後のお話しですと

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	20/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

先程事務局さんからもご発言がありましたが、前期と後期で5年ごとに、4年間の実施計画は2年ごとのローリングをするというようなことで、かなり見直しというのを前提に考えているということでした。もう1方くらいご発言を。まだいっぱいいますね。

それでは今までやりました中でポイントとしてはいろんなビジョンとして素晴らしい将来ではあるんだけど、そこにいくときに書かれているような市民間の連携とかそういうのをどう密にしていっていいのかとか、防災も含めてですが社会基盤で残っている部分どうしたらいいかというようなお話しが主だったと思います。続きまして今手を挙げていただいた方で順番にということでこちらのほうから最初にこちらの前の三番目の方ですね。お願いします。

### 【参加者】

私は緑ヶ丘3丁目のかにかが沢公園の横に住んでる者ですけども、テーマの中でけっこう共通点があります。ですから2番3番4番の中でですね、支えあうとか、共に考え共に進む、それから明日への希望とか、そういう2番3番4番はわりと似たようなことなんですけれども、どのようなかたちで市が活性化していくというのは、どんなかたちかかっていうのは、自治会がやっぱりしっかりした自治会になっていくこと。

それから座間市の現状の自治会っていうのは非常にバラつきがあるように聞いておりますけれども。自治会の活動の塊とかですね件数をきちっと整理して活動しやすい自治会にしていくというふうなかたちがいちばんいいと思うんですけど。私も隣組で色々挨拶関係をしてるんですけども、なかなかおはようとかそういうもので繋がりが出来ないんですね。それで自治会も、ものすごく大きい自治会で、自治会活動するにもなかなか大変な場面が多いんですね。ですから、やっぱり顔の見える自治会、話しの出来る、顔の見える自治会をもっと真剣に取り組んで組み立てていけば活性化できるような気はするんですけどね。これで進んでいくと意見が吸い上げられるような、意見が出てくるような自治会に活発な自治会にしていければ素晴らしいまちになるんだろうかというふうに思いますのでよろしく願いいたします。

### 【コーディネーター】

ありがとうございます。4月のシンポジウムでも大友会長さんなんかも自治会をどうしていくかというような話もかなりありまして、今のお話しに追加して色々ご発言していただいてけっこうだと思いますが、今後自治会をどうしていくかとか地域コミュニティをどうするかというのは今の将来像を具体化するときに大きな課題と、実際にやっつけていかなきゃならないことだと思いますね。引き続き真ん中のお願いたします。

### 【参加者】

新宿に3年ほど住んでいる者でございますけれども。先程のお話しとラップする点が何点かあるんですけども。

まず1つは先程の朗読なされた方素晴らしいなと感心しました。何であんなに素晴らしくやれるのかなと本当に聞いていて良かったです。その中でありましたけれども各種団体、市内に

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	21/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

は沢山の団体がありますね。この方々ボランティアでやっている方が多いんでありますけども、この方々の力、この方々の連携というのは非常に強い。これがむしろ今後の座間を動かしていく原動力になるんじゃないかという概念持っております、これがどういう場合に行政が見て、非常に大事なポイントじゃないかなという具合に思います。

2点目は座間って、先程もありましたけども、県から見ますと座間ってどんなまちなのよと。座間の特徴、私はよく言うんですけども一点突破全面展開ようするにひとつのことをきちっとやることによって、さらに大きな広がりが出てくるんじゃないか、そういう面で座間の特徴というのはこの10年間でやっぱりきちっと明確に出し得るものなら出したらいんじゃないかと。よく言いますのは、水のまち座間とかひまわりのまち座間。これ言葉として聞いているんだけれども、内容的にどうなんだ、そういう意味で。

また市民の皆さんが水のことについて、ひまわりのことについてどういように認知してるんだらうか。本当にこれを座間の特徴と、あるいはもちろんその他にもありますけども、座間の特徴を出すときには世間の皆さんがそれをきちっと認知して、自分たちの役割が何かというようなことに結び付けていかないと、座間の特徴になるものが特徴にならないんじゃないかなという具合に思います。

それから先程もありましたけれども、私30年座間に来てなりますけども、まず、座間警察からずっと相武台のほう行くいわゆるバイパスですか、集まりのいい道路があるなと思いました。ところがそれを外れると、ろくな道路が無い。あれ一本ですが、しかも短い。道路の両側に木まであって、なかなかいいまちにきたもんだと思ったんだけれども、それ以外に誇れる道路がない。私は先程の方と全く同じでありまして都市計画というかそのなかにはしっかりした道路を作ると。それはもちろん都市災害に関しても対応できるような、それから私もつくづく思うんですけども、この小田急を境にしまして西と東が分断されちゃっている。本当に踏み切りでもって途絶えてるんです。ですからこういう当たり前の、本来ならもう十数年前にやるべきことをいまだに残っている。これはあとに残っていけば残っていくほど難しくなるんですよ。ですから何を優先的にやるか場合によってはやらなくてもいい、これをやるんだというようなそういうイニシアチブとってやっていくくらいのことがないと座間の活力あるまちではないんじゃないかという具合に思うんです。

そういう面でちょっと申し上げますと、座間にはホテルがない。ないですね、友達が来ても座間にはホテルがあるんですか泊まる宿があるんですかと問われたときに、無いんですよ、じゃあどこに行くんですか、隣の市なんです。座間の人たちが座間の中でお金を落とす、お金を使う、これが一番いいに決まってるんですね。それは商店街やその他の方々に関しても当然のことです。わざわざ座間の人たちが外に行ってお金を使う必要ないんです。これは行政がホテルを造るということは大変でございますから、私は常々思っているんだけれども、例えば小田急の座間の駅前辺りでホテルができないもんかな、このホテルができますとただビジネスホテルということだけじゃなくてちょっとしたイベント会場に出来るとか結婚式とかそういうことを含めたことが出来るような若干多角的な、そんな大きなものじゃなくてもいい。そういうものができることによって座間の市民はみんなそこ使いましょうと、他に行きません、と。例え

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	22/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

ば小田急さんがホテル造りますって言ったら、おおっけこうだみんなそこ使おうじゃないかと、そういうようなことを行政が議会で色々とモデレートして市民の皆さんにも相談してやってくと。こういうようなこともいっぽうにおいて必要じゃないかなという具合につくづく思います。

ですからこのなかにビジョンがありますけども、これは行政という立場からすれば、バランスよく総合的にやってということはこれはやむをえないと思うんです。しかし、バランス、バランスと考えてると特徴がなくなってしまう。だから、そういういわゆる特徴なんか、座間のものかなそういうことをやはりきちっと一本見出していくことが非常に大事じゃないかなと。

最後に1つ、キャンプの話しをされました。私も全く同感でありまして、在る以上はキャンプと友好にやっていくというのは当たり前だと思うんです。そしてそのキャンプの中にいるアメリカの人たちと仲良くする。そしてそこでやってくんだよと。座間の小学校の子どもたちはそこに行けば米軍の子どもたちと友好の輪が開かれて英語も上手く出来ると、そういう特徴を見出していく。なんら誰に遠慮することはないんです、座間は座間なりにやればいいんです。こういう風に思います。以上です。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。幅広いお話しでしたけれど、もう1方まだ3名4名いますので残りも時間がございませんので少し手短に皆さんお願いしたいと、後ろのほうから女性のほうからお願いします。

#### 【参加者】

20年の先の座間の日記ということで私はすでに、入谷4丁目に住んでおりますけど、今すでに谷戸山の散歩してますし、座間の水もいいなと思って暮らしておりますので、かなりそれに近いものを受けているんですけども、やはり1つ残念なことはキャンプの問題だと思います。これはやはり座間市が直面していかなければいけない問題ということで、ここに全然書いてないこともどうしたことかなと思うんですけども、皆さんの仲良くっていうのもひとつの悪いことではないと思うんですけども、今日本は日米の対等な立場ということで進んでおりますけれども、私たち座間市も地方の市としてそういう態度はきちんととっていかなければいけないというふうに思います。それと座間市がこれだけ自然も豊かで住むのに良い環境も色々揃っているんですけども、やはりひとつその基地問題はマイナス面である部分もありますので私が思うには長崎とか広島が原爆を落とされたところとして平和を世界に発信しているまちだと思います。それと同じように座間市も日本型でキーポイントというかそういう立場上やはり平和を率先して発信していくまちということでいるんな意味でそのことをきちんととらえておくことが素晴らしい座間に繋がっていくというふうに思います。そこは市も市民もしっかり考えて行動していくべきではないかと思っております。

#### 【コーディネーター】

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	23/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

ありがとうございます。キャンプの問題は両方の意見がございましてまさしく両方があってその通りだと思いますし、これは日本全国特にキャンプがあるところは今のように2つの意見が色々とやりあっている。ですからそれだけで多分会議自体が何回も何十回も開けますので、出来れば今日キャンプの問題はこのあたりに話しをしていただいたほうがいいのかなと思います。手を挙げていただいた方で他の方いらっしゃいましたのでそちらの方お願いします。

### 【参加者】

入谷4丁目に住んでいる毎日が休日の〇〇と申しますけれど、座間市の人口の動態を見てますと4人に1人が65歳以上という時代に入っているということで、その次はお墓かなという話しも出てたんですが、都市計画上、今、市街化調整区域ですね、最近墓地がどんどん出来ています。日産自動車と市役所の間に2つほどすでにオープンしていますし、今乗馬クラブの隣にも墓地が出来る計画がありますしそれから新田の相模川流域にも墓地が計画されています。墓地が出来るのはいいんですけども、そこへのアクセスの道路であるとかその周辺の緑地化とかもう少しきれいな墓地になるように指導していただけないかなというのが1つです。

もう1つ都市計画上の話しなんですが、さがみ縦貫道が今計画されまして来年の春には海老名のインターチェンジが東名とつながりますから非常に便利なことはいいいんですが、すでにそのアクセス道路は海老名市内は出来てますけど座間市にはうまく繋がらない。しばらくたつと座架依橋の向こう側にさがみ縦貫道のインターチェンジができます。座架依橋を経由で座間市内に車が流入してくるんですが、非常にアクセスが悪いというかですね、今現在でも座架依橋の周辺は朝晩混んでまして、新田地区内の狭い農道を車が割り込むようなかたちで入ってきます。これがさらにひどくなるのが予想されますので、都市計画上、早めにアクセスができるように整備していただきたいというのが2点目。

あと都市計画で申しますと道路整備で246の西原交差点から泉の森へ抜ける間の道路区間が非常に信号待ちというか交差する時間がかかってますので、この渋滞緩和につきましてバイパスというような上に高架するなりですね、何かうまい方法を考えていただかないと、ますますさがみ縦貫道関連で道路が混雑するのではないかなというふうに思います。

最後に、今、座間市が市民が利用する公共施設、例えば公民館、図書館、コミュニティセンター、体育館、文化会館全て月曜日は休みにしてしまいました。このためにですね、65歳以上4人に1人の人が行くところがないです。老人憩いの家も月曜日が休みです。全ての公共施設でみんなが集まって楽しもうという場所が月曜になると一斉に休んでしまう。これはもったいない話しで、休日の分散化をまず進めてほしい、休む日にちを火曜日なり水曜日なり少しシフトして分散化してほしい。もう1つはそういう市民が利用する施設というのは年末年始を除いて完全無休化するべきというのがひとつの目標ではないかと。例えばですね横浜市とか川崎市をみると、月1回ずらして休んでいるだけです。その他の日は全て営業しております。年末年始を除いてはですね。そういう事例もありますのでなるべくならば基本的には休館日なしと、本庁舎はしょうがないんですけどね。市民が集う場所については休みを年末年始にするだけにして、65歳の労働力ですねまだ働きたい元気な人がおりますので、そういうところをボランテ

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	24/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

ィアなりアルバイトで補って開館できるように努力してもらいたいと思います。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。真ん中の方いらっしゃいました。

#### 【参加者】

車椅子で生活して30年経つ座間1丁目に住んでいる〇〇です。先程から聞いていますと本当にこのあいだも子ども議会に出られて福祉の問題で質問されたお子さんがいます。じつは私数年前から小中学校のお子さんたちに車椅子、障害のことについて色々習いたい、学習したいということで方々の学校へ行ってまいりました。このあいだそのことで言ったのは市内の道路、やはり狭いんです。それとでこぼこが多い。せつかく道路、市役所の前から行く道路は立派にできてますけど、一步細い道に入るとでこぼこが多い。特に、車椅子だとか高齢の方、白杖を使ったり杖を使ってる方には通りづらい。いつか東原小学校のお子さんと座間駅まで小学校からどういところが障害者や高齢者に悪いかということで探検をしてもらいました。そうしたら、電信柱が、せつかくある人道の中に立ってて、車椅子じゃそこを通れません、下に降りなきゃならない。こういうようなところが各所にあつてそれこそお年寄りや障害者に対する非常に不便なまち、道路とか沢山あります。こういうところをこういう計画のなかでしっかりと変えていただきたいと思います。

それともう1つ、せつかく立派な市役所の建物が1階から7階まで障害者のトイレが各階にあります。ところがほんの一部の障害者しかあのトイレは使えません。だいたいそういう障害者はあのトイレがただ飾り物にしか見えないんです。なぜかという便器の位置、手すりの位置が全然障害者に対する配慮がなされてない。ただ広いというだけです。それでハーモニーホールの障害者のトイレ2箇所はあの建物が出来たときに改造して直してございます。水周りが云々で直せないよというので、手洗いを小さくして手すりを取ってもらう、やっと使えるようになったんですけど、それでもほんの一部の障害者の電動車椅子に乗っている人だとかかなり不便なトイレなんです。そういうことをこれから計画立てるなら当事者を交えて計画を立てていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。今色々お話しがありましてバリアフリーの話やもう少しユニバーサルデザインの話とかですね。色々お話しがありましたが、どうでしょう時間が迫ってますので、あとお1人かお2人だと思いますがお話しいただける方、途中で若い方の働き場所の話とか座間の個性だという話しありましたが、商工産業の方で何かお話し、農業の話なんか未来日記でありましたけれども、そういうようなことでお話しされる方出来る方いらっしゃいましたらいかかでしょうか。座間の働く場所っていうのは難しいなかなかかなり未来日記の中でも若い女性の方が大学を出て座間の戻ってきたとかそういうような結果とされておりましたけれどもなかなか難しいですね。また必要なものだというご意見だったと思います。いか



件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～	頁	25/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)

がでしょうかその他の意見でも結構ですけども。

#### 【参加者】

昨日日曜日 NHK スペシャルという番組がありますよね。よく私は観るんですけど、昨日は日本の力がテーマで、内容について言いたいんじゃないんですが、形式、フォーラムのやり方これは非常に洗練されていて素晴らしいですよね。あれは司会者のミヤケさんのまさにあるんだけど、一般市民のあらゆる人たち、全国的な人たちの公募をするのか応募をしたら出られるのかもしれませんが、それに対して2人民民主党のばりばりの大臣副大臣を前において決してつるし上げるといんじゃないんですよ、ただ厳しい質問なり期待なりを述べるんです。でも結局2人が色々喋ってしまうと、こういった雰囲気でした。

そんなふうなことで私思いますのはこのフォーラムもやはりよろしくミヤケさんの代わりに今あなたが司会をしていらっしゃるんですけども、その壇上にですね責任あるお方がいらして、その方に今日質問するとか応答するとか、というようなスタイルをぜひ、取り入れていただければと思います。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。運営に対するご意見ありがとうございます。ミヤケさんのような司会は出来ませんが今のご意見で多分よければ最後にもう1方からご意見ありましたら最後には、せつかくですので、市の市長さんもしくは福祉の方、教育長さんなり一言いただけると今の運営に対するご提言に対しては少し答えがあるかなと思います。ただ今日は皆さんが主役、皆さんから色々な意見を聞くのが趣旨でございますので、もし時間があれば一言最後いただきたいと思っています。どうでしょう残りあとちょっとですが、出来ればご発言されてない方のほうに真ん中の方ですね。

#### 【参加者】

ひばりに住んでいます。私よく音楽が好きでハーモニーホール何度か行くんですが、市長もよく音楽、学生時代ですねコーラス部に入っていて、よく音楽会にきているというんですが、ハーモニーホールの小ルームへ大ホールの音が音漏れするんですね。ですから、きれいな音楽、静かなところが台無しになってしまうんです。もちろん有料ですから料金払って見てるんですが、帰りに事務局行きましたらわかってます、それは了解済みでやっていますからというんですね。どうしてるんだって言ったなら市に言ってというんですね。それで市の担当お願いしたら、驚いたんです、予算がなくて。市民の方が大勢くればなんとかしてくれるんでしょうけども、もっともっと。なんだか前向きな意見ではないですね。そういうことを市長どのように考えていらっしゃるんでしょうか？もちろん大きな音楽ですね、意味がないですね、そういった意味です。

それから座間市の花はひまわりですね。ひまわりの花は8月にあちこちで咲いています。ネットで調べましたら5万本50万本なんですね本数言いますと、日本一なんですね。もちろ

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	26/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

んあちこち集めたんですが。それで言いましたらですね、池袋などが有名なのですが、探すのに1時間かかったんですね。案内が少ないんです。今は観光が伸びていますね。880万人ですか、の観光客が海外から来るらしいんですけどもひまわりの花で誘致して、もっともっと便利に盛り上げてですね、やってほしいと思います。ある人が言ってたっていうんですね「わからない、いつ咲くんだと」。もちろん四季により話しも違います。今日現在、どういった花が咲いている、そういったものをネットに出すから現在花の状況をネットに表示することですね。以上です。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。最後私のほうからの話しの前に今の話ひまわりの話は、他の作物を植えてその刈り取った後にこうやっているという色々时期的な課題もありそうなんですけど、どうでしょう、もし関わってらっしゃる方もしお話しを出来る方がいらっしゃいましたら、今日いらっしゃいますかね。今日はいらっしゃらないですかね。そういう时期的な問題がそもそもの畑の問題であるというのがお聞きしたことがありましたが、それも含めて色々情報を発信すべきだろうとそういうようなご意見でしたかね。大変ありがとうございます。もう1方ぐらいいかがでしょうか。手短にお願いします。

#### 【参加者】

先程発言したので、中で若い人たちの生きる道というのを具体化して申し上げなかったんですが、4人に1人お年寄りだという話がお年寄りには人生経験沢山あります。それぞれいろんなノウハウ持っていらっしゃると思うんですね。ですからそういう方々が集まると新しい産業の目といいましょうか、可能性があるんじゃないかと。いろんなことをやったり、いろんなグループがあるのかもしれませんが、そういうことでとりあげていく、要はお年寄りが先程言われたような元気な人たちがさらにまちを活性化していくアクションができれば、私もその環境省の仕事をしてましたので、それをしようと思っておりますが、そういうのをいろんな形で作れば、さらに楽しいまちになるんじゃないかというように思います。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございます。おっしゃっていただいたように高齢化進んできてまちにお年寄りがでてくると、やはりその方々ただ趣味で楽しく暮らすよりもいろんな今の知恵を使っていたいでまちで活躍していただく、そんなネットワークだったりまとまりが必要じゃないかとそんなことが言えるんでしょうね。ありがとうございます。

今までだいたい1時間少しお話しをいただきまして、最初にそもそも子育てしやすいまちなのかというようなご提言といたしますかご質問がありましたら、都市計画の問題とか道路の問題とか安全の問題はどうなんだろうか、そもそも道路が駄目じゃないかと。未来日記の中にも確か昔は座間に戻ってくると道が大変だったけど今は少しよくなっているとそういう希望が未来日記にはあったと思いますが実態としてそうだろうか、問題があるんじゃないかと。あとは座

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	27/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

間の特徴は何かと一言で言えるようなものを作っていかなければならないんじゃないかそのときにそれこそ重点化すべきではないかというようなお話しでございました。これはとても難しい話しですね。こっちをのばせばこっちを重点化するというのは重要なんでしょうが、座間市民全体の意見を聞きながら多分こういう意見を聞きながら市のほうで今後考えていくんだと思います。それと今お話しいただいた高齢者の方々をちゃんとまちで、せっかくいらしやるので、先程施設のお話しで休みの日をどうにかしなきゃと、月曜日に重ならないようにというように話しましたが、これも高齢者それぞれの利用者であつたり活躍されるそれぞれの方に即した活躍の場であつたり利用の仕方に即したようなものがないのかというようなそういうものをちゃんと考えないと先程の未来はないんじゃないかというような話しとかあつたと思いますが、そうしてやはり最初に途中ご発言いただきました方のように市民間の密な連携とかそういうものを市民側の活動などがなくて多分今ご要望いただいたことは難しいと思いますし、それだけじゃなくてお金の話しも、税金だけで今のお話しが全部できるのかというような話しも多分あると思います。そういうような難しい話しが多いと思いますが、そういうのを前提に難しいというのを前提にしながらも、時間がありませんが最後に一言せっかくですのでソーシャルマネジメントのひとつの主体としての市のほうから一言ご発言をいただければと思います。すがお願いいたします。

#### 【座間市長 遠藤三紀夫】

短い時間ではございましたけれども色々な角度からの考えを率直に述べていただきまして本当にありがとうございました。おっしゃられることいちいちごもっともなポイントばかりだったと思います。今回このような懇談会ですとか今日のフォーラムですとかまた、先程申し上げた子ども議会ですとかそれから、これからまちづくり協議会というものを2000人抽出させていただいてその日から出ていただきたいという方にやっていただくんですけどもそうした場ですとかまた、先程はがきでの1000通を超える返信があつたという話しをさせていただきましたけれどもご意見を伺う。これはこういう発想というのは例えば日本のものづくりの中で大変世界的に有名になっているTQCという手法、これをやるに際してまずは問題課題というものがあるのかということで抽出をしなきゃいけない。それをブレインストーミングすなわち頭真っ白にして思い切ったことをどんどんどん出すんだと。それを今度はテーマ別に分けて、重要なものから順に各個撃破で解決をしていく。それを繰り返すことによって品質を高めていくとこういう基本的な手法、これによって日本の産業はよくなってきた。私ら行政にとっても、行政の立場で考えること気がつくことこれにはやはり限界があると思います。やはり自分たちの仕事、自分たちが行っている仕事を守りたい、またそれを制度化したいという部分はどうしても出てきてしまうと思うんです。そうした点市民の側、市民としての視点からこうあってもらいたいこうあるべきじゃないということについて色々なアイデアをいただく。それを受け止めさせていただいた中でこれを整備をさせていただく。そしてそれをここでくみ上げていく総合計画のなかに落とし込んでいく。これがやはり私は計画策定にあたって一番必要な作業じゃないかということでこういうものを作らせていただいたわけでございます。

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	28/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

その中でまさしく私共自身も課題に思っているポイント、痛いところこういう点についても色々な角度からお話しをいただきました。

例えば道路整備の関係、これは本当にその通りだと思います。アメリカの開拓時代からこの方のまちづくりというものを考えるときに、まず教会が出来ます、学校ができますそして道路を引っぱります。道をひいたところに住宅ができ人が住んでいると。ところがこの日本の戦後の高度成長に従った都市化の進展というのはどうだったのでしょうか。行政では都市計画という言葉を使います。そしてこの今回の総合計画もそうですけれども計画的に政策誘導をしていくということを申し上げてきたと思いますし、かつてそういうふうにならなくてやってきた経緯があると。しかし私はこれは建前と本音の部分だというふうに思っています。都市計画法の制定というのも高度成長がはるかに進んだ後の昭和40年代。この座間のまちを考えると昭和30年代の半ばから40年代の前半にかけてすでに相武台、広野台地域の製造業中心とした工場進出こういったものがあつたわけですし、小田急相模原それから相武台前さらにはひばりが丘といった地域に高度成長の波にしたがって衛星都市としての住宅開発というのもこれは自然発生的に進行してしまつた。結果として当時の農道に少し色がついた程度の道路のところにとんどんとんどん住宅が建つてきてしまつた。それに対して残念ながら行政は後手後手にまわつてきた。こういう現実もあつたかというふうに思います。さらにそれを追いかけるべくきちんとしたやはり都市基盤の整備という部分で下水道の面整備ですとかこういったものについてもなんとかしなければいけないというなかでこれも過去の20年の間にかなりの課題、下水道に関しては解決をしたわけでございますけれども、結果としてそこにつくつた大きな負債というものが将来にわたつて負担として残つてきている。道路整備もそうだと思います。これは道路についても2つ、生活道路の部分とあとは都市計画において必要とされる地域間の連携を含めてなかでの道路。例えば高速道路へのアクセスの関係ですとか幹線道路へのアクセスの関係ですとかこれは全く2つに分けて考えなければいけないんですけれども、いずれにしてもこれはここまでなつてしまつた現実をとらえながら行つていかなければいけない施策というふうに考えると、財政的な面でもそれから実際に住まわれている市民の皆さんの理解の面でも大変大きな痛みを伴う政策になるんです。であるからこそ、やはりこれは市民の皆さんの意見というものをきちんと取り入れながら最低限こうしなければいけないんだということを政策の中に盛り込んでいく必要がある。こういうふうに思うわけでございます。

住み良いまちですとかそれから心地よいまち、これからリタイアをする年寄りが年配者が安心して老後を送れるまち、こんなようなイメージになつちやつてるんじゃないかというご指摘もいただきました。確かにこれだけを読むとそういうイメージがおもてに出るとおもいます。これを考えるときに私いちばん必要だと思うのは、これもご指摘いただいたように座間のまち、私たちの座間のまちというのはどういうまちなのかということをおもてに神奈川県の中で、また県央地域の中でさらに日本国全体の中できちんと位置づけてこの17.58㎢、13万弱の市民が今いらっしゃるんですけども、どういうキャラクターを持ったまちなのかということをおもてに見つめたなかで住宅都市としての側面そしてその中における必要な産業、そして住み良いまちをつくっていく上での環境との共生そういった面での産業のあり方、またライフラインとしての水

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	29/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

のあり方こういったものを総合的に考えていかなければならない。ようは位置づけの話だというふうに思います。今日お話しを承った中でその位置づけについてももう少し強くきちんとうちだしをさせていただいて合意形成をしていく必要があるということも痛切に感じさせていただきました。それからやはり今最後にもお話しいただきました私にもこういう経験があるというお話し。65歳以上の、高齢者という今括りになりますが、私はあえて65歳以上の方と言うお話しをさせていただきます。今現在でも団塊の世代の皆さんもそうですし、その前の古い段階の世代の皆さんでも退職をされて地域に戻ってこられる、地域活動に一生懸命、これまで現役世代仕事の中で培われたノウハウ経験というものを生かしていただきながらご活躍いただいている方も私も多数存じ上げております。それだけ人的な資源がこの座間の中にはあるわけです。そうした皆さんたちがやはり単に囲碁を打ち、散歩をし、美味しいものを食べてる、そういうものではなくて、これまでの人生の先達として培ってこられたそうした能力を精一杯使っていただきながら、このまちのよき将来に向けてのひとつの礎になっていただく、これも必ず必要になってきていると思いますし、それこそひとつの生きがい創造になるかというふうに思うわけです。それ自体がまた今軽薄になりつつあるまた希薄になりつつあるこのコミュニティの再生。日本人は本来自分たちの住む地域の中でそして家族の中でお互い人を大切に思いやりを持ちながら生きてきた。そして、その中できちんとした秩序を保ちながらやってこられた。こうした大きな、私は美点があったと思いますし、そういう伝統必ずやこれは私たちの中に内在しているんだと思います。こうした点をなんとかお互いに引き出すことによって総合的にこの座間のまち良いまちだと思えるものにくみ上げていく。そのための基本的な合意がこの総合計画だと私は思っておるわけでございます。

今日はこうして日曜日の、それも日中昼間大変貴重な時間をいただく中で本当に大変貴重なご意見を頂戴しました。これから10月14日からお手元にもお渡ししましたけれども地域別の懇談会ということで、またより細かな課題もあるかもしれません。地域ごとの特色ある課題もあるかもしれません。そうしたご意見もまた拝聴しながら、それをまた私どものほうで整理集約をさせていただいて、より反映された次なる総合計画の素案として、またご提案申し上げ、目指していただきたいというふうに思うわけでございます。長くなってますけど、そうした姿勢でこれからも取り組んでまいる所存でございますのでどうか引き続きこの件に関しましてのご指導ご助言ご協力賜りますように心からお願い申し上げます。本日はご出席に対して感謝申し上げますながら私からのご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

#### 【コーディネーター】

ありがとうございました。私の司会もよくはなかったかもしれませんが、最後にそういうようなご意見もあったほうがいいんじゃないかということで市長さんのほうからご発言いただいて、ひとまず時間のほうは与えられた時間のほう過ぎてしまいましたのでここで意見交換はお開きにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

件名	第1回 まちづくりフォーラム ～みんなで紡ごう！座間の未来日記～		頁	30/30
日時	平成21年10月4日(日)	場所	サニープレイス座間 3階多目的室 (座間市総合福祉センター)	

## 6. 閉会

まだまだ皆さんのほうからご意見をいただきたいと思いますが時間がきました。今日いただきましたご意見ご要望等につきましては今市長のほうから話しありましたように10月14日から22日までの間に地域のほうに行きまして、地域別懇談会を予定してございます。この会場につきましては駐車場の関係で、場所は文化センターあるいはコミュニティーセンターと限らせていただきますけども、ぜひお時間があればまたその時に貴重なご意見をいただきたいとこのように思います。今日は本当に忙しい中貴重な時間をいただきましてありがとうございます。ただいまをもちまして第一回のまちづくりフォーラムを閉じさせていただきたいと思います。大変ありがとうございました。